J.P.Morgan
Asset Management

追加型投信／内外／株式

JPMグローバル医療関連株式ファンド

交付運用報告書

第25期　（決算日：2019年10月25日）
第26期　（決算日：2020年１月27日）

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「ＪＰＭグローバル医療関連株式ファンド」は、去る１月27日に第26期の決算を行いました。

当ファンドは、投資先ファンドを通じて、世界の医療関連企業の株式および円建ての公社債を主要投資対象として運用を行い、信託財産の中長期的な成長をはかることを目的とします。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

第26期末（2020年１月27日）	
基準価額	10,549円
純資産総額	45,827百万円
第25期～第26期 作成対象期間（2019年７月26日～2020年１月27日）	
騰落率	17.3%
分配金（税込）合計	300円

（注）騰落率は収益分配金（税込）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
（注）当報告書における比率は、表示桁未満四捨五入です。
（注）「JPモルガン・ファンズ－グローバル・ヘルスケア・ファンド」は「グローバル・ヘルスケア・ファンド」ということがあります。

〈お問い合わせ先〉
JPモルガン・アセット・マネジメント
TEL　03－6736－2350
（受付時間は営業日の午前９時～午後５時）
https://www.jpmorganasset.co.jp/

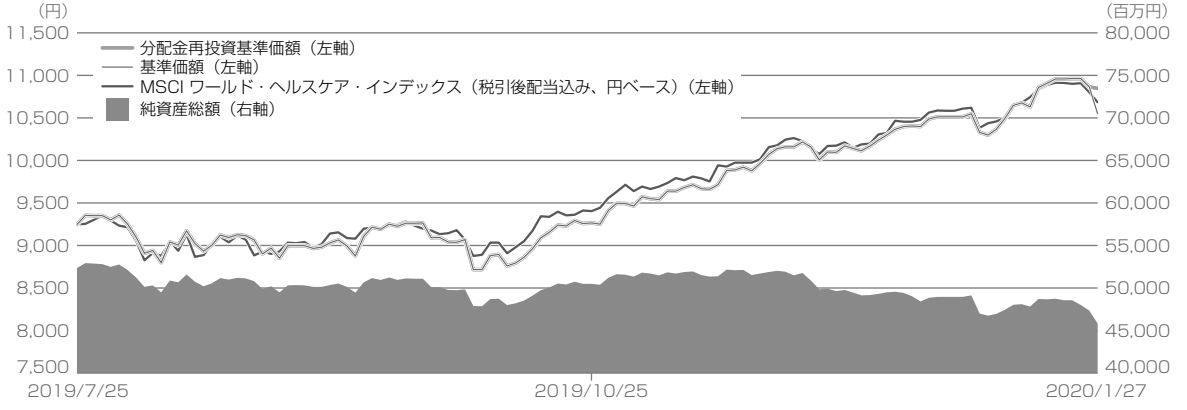
当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。上記ホームページのフッターにある「運用報告書（全体版）」より遷移する画面で、該当のファンドの該当の日付を選択することにより閲覧することができます。

JPモルガン・アセット・マネジメント
〒100-6432 東京都千代田区丸の内２丁目７番３号
東京ビルディング

運用経過の説明

◎基準価額等の推移

（2019年7月26日～2020年1月27日）



第25期首： 9,248円
第26期末：10,549円（既払分配金（税込）：300円）
騰 落 率： 17.3%（分配金再投資ベース）

（注）基準価額は、信託報酬控除後です。分配金再投資基準価額は、信託報酬控除後のもので、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです（以下同じ）。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません（以下同じ）。
（注）MSCI ワールド・ヘルスケア・インデックス（税引後配当込み、円ベース）は主要投資対象であるJPモルガン・ファンズ－グローバル・ヘルスケア・ファンドのベンチマークであり、当ファンドのベンチマークではありません（以下同じ）。
（注）分配金再投資基準価額およびMSCI ワールド・ヘルスケア・インデックス（税引後配当込み、円ベース）はグラフの始点の日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
（注）MSCI ワールド・ヘルスケア・インデックスは、MSCI Inc.が発表しております。同インデックスに関する情報の確実性および完結性をMSCI Inc.は何ら保証するものではありません。著作権はMSCI Inc.に帰属しております。MSCI ワールド・ヘルスケア・インデックス（税引後配当込み、円ベース）は、同社が発表したMSCI ワールド・ヘルスケア・インデックス（税引後配当込み、米ドルベース）を委託会社にて円ベースに換算したものです（以下同じ）。

◎基準価額の主な変動要因

当ファンドは、投資先ファンドであるグローバル・ヘルスケア・ファンドの組入れを高位に保つことにより、実質的に世界の医療関連企業の株式に主として投資を行っております。当作成期は、保有株式の価格上昇などが基準価額を押し上げました。セクター別では、医薬品を筆頭に全てのセクターへの投資がプラスに寄与しました。

◎1万口当たりの費用明細

（2019年7月26日～2020年1月27日）

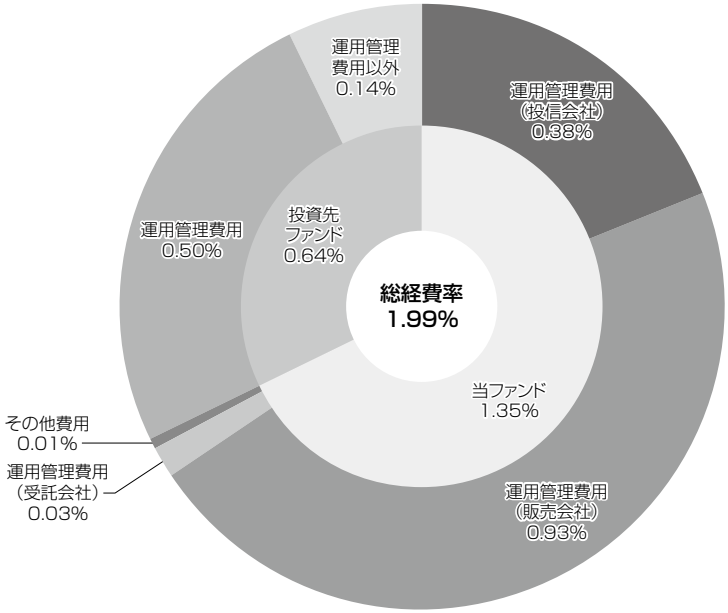
項目	第25期～第26期 金額	第25期～第26期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	66	0.688	(a)信託報酬＝〔当作成期中の平均基準価額〕×信託報酬率
（投信会社）	(19)	(0.196)	投信会社 投資判断、受託会社に対する指図等の運用業務、目論見書、運用報告書等の開示資料作成業務、基準価額の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
（販売会社）	(46)	(0.475)	販売会社 受益者の口座管理業務、換金代金等の支払い業務、交付運用報告書の交付業務、購入後の投資環境等の情報提供業務、およびこれらに付随する業務の対価
（受託会社）	(2)	(0.017)	受託会社 信託財産の記帳・保管・管理業務、委託会社からの指図の執行業務、信託財産の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
(b) その他費用	25	0.255	(b)その他費用＝〔当作成期中のその他費用〕／〔当作成期中の平均受益権口数〕
（監査費用）	(0)	(0.003)	監査費用 信託財産の財務諸表の監査業務の対価として監査法人に支払われる費用
（その他）	(24)	(0.252)	その他 信託事務の処理等に要するその他諸費用 当ファンドが組入れているJPMグローバル・ヘルスケア（Xクラス）の運用報酬：純資産に対して年率0.50%
合計	91	0.943	
当作成期中の平均基準価額は、9,590円です。			

（注）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各項目の円未満は四捨五入です。
（注）比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
（注）各項目の費用は当ファンドが組み入れている投資信託証券（投資信託受益証券および投資証券）が支払った費用を含んでおらず、上記以外に間接的に負担している主な費用として、当ファンドが投資している投資信託証券には以下のものがあります。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における費用等については「組入上位ファンドの概要」に表示しています。
①JPMグローバル・ヘルスケア（Xクラス）（JPM Global Healthcare X）
事務管理報酬：実費（ただし、純資産に対して年率0.15%を上限とします。）
その他費用：有価証券の売買にかかる費用・税金、外貨建資産の保管費用、臨時で発生する費用、その他の税金等
②GIMジャパン・マネープール・ファンドF（適格機関投資家専用）
信託報酬：2019年9月30日まで 年率0.1026%（税抜0.095%）
2019年10月1日から 年率0.1045%（税抜0.095%）
監査費用：2019年9月30日まで 年率0.0216%（税抜0.02%）ただし、年間324万円（税抜300万円）を上限とします。
2019年10月1日から 年率0.022%（税抜0.02%）ただし、年間330万円（税抜300万円）を上限とします。

（参考情報）

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を当作成期中の平均受益権口数に当作成期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.99%です。



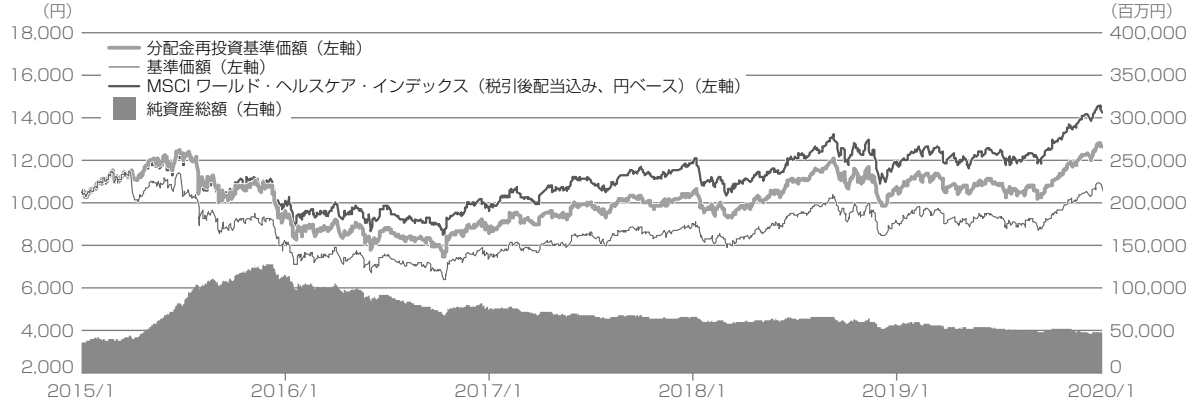
（単位：%）

総経費率（①＋②＋③）	1.99
①当ファンドの費用の比率	1.35
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.50
③投資先ファンドの運用報告費用以外の比率	0.14

（注）当ファンドの費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券です。
（注）それぞれの投資先ファンドの費用は以下簡便法により算出した合計値です。
JPMグローバル・ヘルスケア（Xクラス）：当ファンドの目論見書に記載した当該投資先ファンドの運用管理費用を上記②とし、当該投資先ファンドの直近の計算期末時点におけるTER（総費用率）を上記③とする簡便法
GIMジャパン・マネープール・ファンドF（適格機関投資家専用）：当該投資先ファンドの直近の計算期末時点における運用報告書１万口当たりの費用明細において用いた簡便法
（注）GIMジャパン・マネープール・ファンドF（適格機関投資家専用）の費用は、GIMマネープール・マザーファンド（適格機関投資家専用）が支払った費用を含みます。
（注）当ファンドの費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注）当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

◎最近５年間の基準価額等の推移

（2015年1月27日～2020年1月27日）



（注）分配金再投資基準価額およびMSCI ワールド・ヘルスケア・インデックス（税引後配当込み、円ベース）はグラフの始点の日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

	2015年１月26日 決算日	2016年１月25日 決算日	2017年１月25日 決算日	2018年１月25日 決算日	2019年１月25日 決算日	2020年１月27日 決算日
基準価額(円)	10,482	8,236	7,372	9,025	9,051	10,549
期間分配金合計(税込)(円)	－	1,700	0	0	0	300
分配金再投資基準価額騰落率(%)	－	△8.2	△10.5	22.4	0.3	19.9
MSCI ワールド･ヘルスケア･インデックス(税引後配当込み､円ベース)騰落率(%)	－	△3.4	△4.6	22.8	△0.4	20.5
純資産総額(百万円)	34,387	115,482	74,632	66,486	56,923	45,827

（注）純資産総額の単位未満は切捨てです。

[投資環境]

○株式市況

当作成期の世界の医療関連株式市場の動向を表すMSCIワールド・ヘルスケア・インデックスのパフォーマンスは+12.5%となりました。

◆作成期首から９月にかけては、米中貿易摩擦などに関して米中間で歩み寄りが見られたことなどが世界株式市場の下支え要因となった中、医療関連株式は米議会で薬価抑制などの議論が再開し、国民皆保険（メディケア・フォー・オール）の導入を主張する大統領選候補が大きく支持を伸ばし、薬価下落への懸念を高めたことなどが株価の重石となり、小幅下落しました。

◆10月以降は、米中貿易協議が進展するにつれて世界株式市場は上昇しました。特に医療関連株式は、新規治療システムが認可されたことや、がん治療の新薬開発のニュースなどが追い風となり、MSCIワールド・インデックスを上回るパフォーマンスとなりました。

※株式市場の動きは、MSCIのインデックス（配当なし、現地通貨ベース）を使用しております。MSCIのインデックス（現地通貨ベース）は、MSCI Inc.が発表しております。同インデックスに関する情報の確実性および完結性をMSCI Inc.は何ら保証するものではありません。著作権はMSCI Inc.に帰属しております。

○為替市況

為替市場では、米中貿易協議が一部合意に達したことや英国のEU（欧州連合）離脱問題が現実化してきたことなどを背景に、米ドルや英ポンドなどは対円で上昇しましたが、ユーロは対円で小幅下落となりました。

[運用経過]

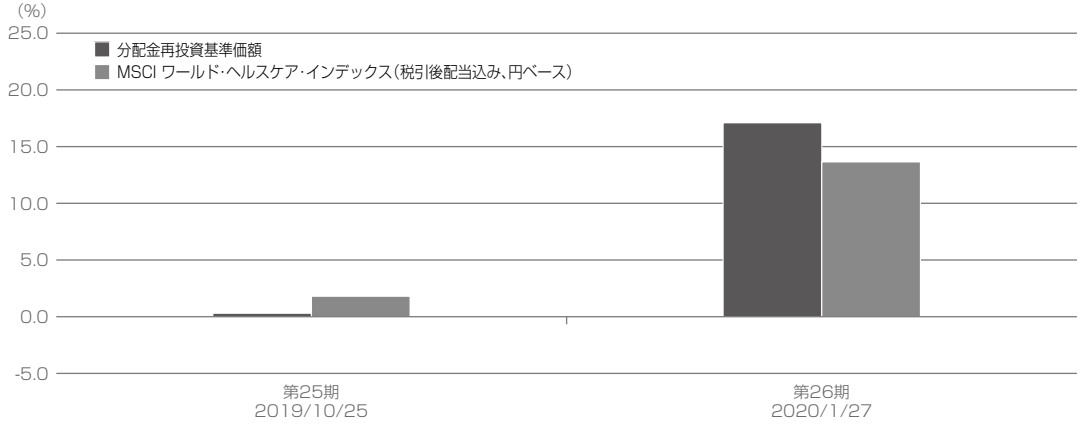
1）基準価額の推移
　基準価額（税引前分配金再投資）の騰落率は+17.3%となりました。

2）基準価額の主な変動要因
　当ファンドは、投資先ファンドであるグローバル・ヘルスケア・ファンドの組入れを高位に保つことにより、実質的に世界の医療関連企業の株式に主として投資を行っております。当作成期は、保有株式の価格上昇などが基準価額を押し上げました。セクター別では、医薬品を筆頭に全てのセクターへの投資がプラスに寄与しました。

3）ポートフォリオについて
　グローバル・ヘルスケア・ファンドを高位に組み入れました。
　グローバル・ヘルスケア・ファンドにおけるセクター別の投資配分については、医薬品やバイオテクノロジーなどへの投資比率を引き上げた一方、医療・健康サービスへの投資比率を引き下げました。

◎当ファンドのベンチマークとの差異

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



（注）MSCI ワールド・ヘルスケア・インデックス（税引後配当込み、円ベース）は主要投資対象であるJPモルガン・ファンズ－グローバル・ヘルスケア・ファンドのベンチマークであり、当ファンドのベンチマークではありません（以下同じ）。

◎分配金

基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、１万口当たりの分配金は当作成期合計で300円（税込）としました。留保益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

（単位:円、１万口当たり･税込）

項　　目	第25期	第26期
	2019年７月26日～2019年10月25日	2019年10月26日～2020年１月27日
当期分配金	－	300
（対基準価額比率）	－%	2.765%
当期の収益	－	300
当期の収益以外	－	－
翌期繰越分配対象額	46	1,064

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）円未満は切捨てです。当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の見通しと運用方針

◎今後の見通し

◆米国において、薬価引き下げへの圧力は今後も続く見込みであり、ジェネリック（後発）医薬品メーカーへの厳しい影響が予想される一方で、代替の効かない革新的な医薬品を製造する企業や、薬価引き下げに貢献するビジネスモデルを有する民間医療保険会社にとっては追い風になると考えています。足元では世界的な景気減速懸念が後退し、米国の医療制度改革への過度な警戒感も薄らいでいるものの、米国大統領選挙の行方次第では不透明感が再燃する可能性もあるとみています。しかしながら、多大な財政負担を伴う医療制度改革が実現する可能性は低いと見られ、医療関連企業は安定した増益基調が評価され、株価の上昇が期待されます。

◆医療支出の伸びの抑制に伴い、医療産業の構造変化が予想される中、マネジドケア（医療費を抑制することを目的とした医療保険システム）およびテレヘルス（遠隔地への医療サービス）関連や業界再編の動きに着目しています。

◆血友病や小児性の神経疾患を始めとして多くの疾病への応用が期待される遺伝子治療に注目しています。未だ治療法が確立されていない医療へのニーズは高く、こうした分野で有望な画期的新薬のパイプラインを有する医薬品企業は引き続き魅力度が高いと考えています。また、患者の身体への影響を減らした治療法である手術支援ロボットや経カテーテル大動脈弁治療などへの需要の高まりにも注目しています。

◆豊富な資金力を有する大手医薬品・バイオテクノロジー企業が、画期的な新薬や治療法などの成長の源泉を有する中小型企業を買収するケースや、ヘルスケア･サービス業界の再編の動きが続いており、M&A（企業の合併･買収）の動向にも引き続き注目しています。

◎今後の運用方針

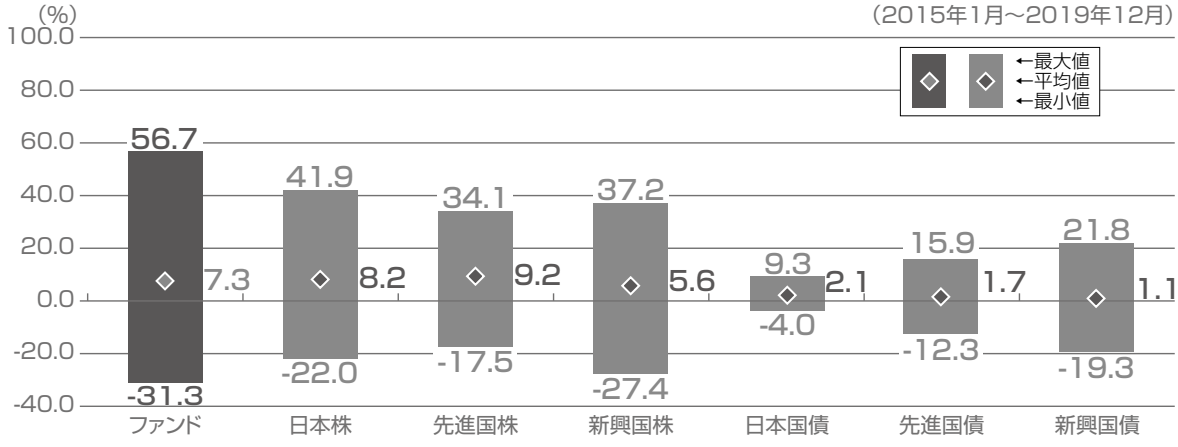
投資先ファンドを主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長をはかることを目的として運用を行います。

当該投資信託の概要と仕組み

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2013年7月26日から2023年7月25日（休業日の場合は翌営業日）までです。	
運用方針	投資先ファンドを通じて、主として世界の医療関連企業の株式に実質的に投資することにより、この投資信託にかかる信託財産の中長期的な成長をはかることを目的として運用を行います。	
主要投資（運用）対象	当ファンド	以下の2ファンドを主要投資対象とします。
	①JPモルガン・ファンズ－グローバル・ヘルスケア・ファンド 世界の医療関連企業の株式を主要投資対象とします。 ②GIMジャパン・マネープール・ファンドF（適格機関投資家専用） マザーファンドを通じ、円建ての公社債を主要投資対象とします。	
組入制限および運用方法	当ファンド	ファンド・オブ・ファンズ方式により運用します。「JPモルガン・ファンズ－グローバル・ヘルスケア・ファンド」の組入比率を高位に保つとともに、円建ての公社債に投資する「GIMジャパン・マネープール・ファンドF（適格機関投資家専用）」にも投資します。 為替ヘッジは行いません。株式への直接投資は行いません。投信および外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
	①JPモルガン・ファンズ－グローバル・ヘルスケア・ファンド ・1企業に対する投資比率は、当該投資先ファンドの総資産額の10%以下とします。 ・当該投資先ファンドの総資産額の5%を超えて投資する企業への投資比率の総計は、当該投資先ファンドの総資産額の40%以下とします。 ②GIMジャパン・マネープール・ファンドF（適格機関投資家専用） 株式への実質投資割合は、純資産総額の10%以下とします。外貨建資産には投資しません。	
分配方針	年4回（原則として1月、4月、7月、10月の各25日）決算日に基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

年間騰落率（毎月末時点）の平均と振れ幅を、ファンドと代表的な資産クラスとの間で比較したものです。



（注）

○ファンドの分配金再投資基準価額および年間騰落率は、実際の基準価額およびそれに基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

○ファンドの年間騰落率（毎月末時点）は、毎月末とその１年前における分配金再投資基準価額を対比して、その騰落率を算出したものです。（月末が休日の場合は直前の営業日を月末とみなします。設定から１年未満の時点では算出されません。）

○分配金再投資基準価額は、信託報酬控除後のもので、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したものです。

○代表的な資産クラスの年間騰落率（毎月末時点）は、毎月末とその１年前における下記の指数の値を対比して、その騰落率を算出したものです。（月末が休日の場合は直前の営業日を月末とみなします。）

○ファンドと代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較は、上記の５年間の毎月末時点における年間騰落率を用いて、それらの平均・最大・最小をグラフにして比較したものです。

○ファンドは、代表的な資産クラスの全てに投資するものではありません。

○上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

○代表的な資産クラスを表す指数

日本株・・・・TOPIX（配当込み）
先進国株・・・MSCIコクサイ指数（配当込み、円ベース）
新興国株・・・MSCIエマージング・マーケッツ・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債・・・NOMURA-BPI（国債）
先進国債・・・FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債・・・JPモルガンGBI-エマージング・マーケッツ・グローバル（円ベース）

（注）海外の指数は、為替ヘッジを行わないものとして算出されたものです。なお、MSCIコクサイ指数（配当込み、円ベース）およびMSCIエマージング・マーケッツ・インデックス（配当込み、円ベース）は、委託会社で円換算しています。

TOPIX（東証株価指数）は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。なお、ファンドは、㈱東京証券取引所により提供、保証または販売されるものではなく、㈱東京証券取引所は、ファンドの発行または売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

MSCIコクサイ指数およびMSCIエマージング・マーケッツ・インデックスは、MSCI Inc.が発表しています。同インデックスに関する情報の確実性および完結性をMSCI Inc.は何ら保証するものではありません。著作権はMSCI Inc.に帰属しています。MSCIコクサイ指数（配当込み、円ベース）およびMSCIエマージング・マーケッツ・インデックス（配当込み、円ベース）は、同社が発表したMSCIコクサイ指数（配当込み、米ドルベース）およびMSCIエマージング・マーケッツ・インデックス（配当込み、米ドルベース）を委託会社にて円ベースに換算したものです。

NOMURA-BPI（国債）は、野村證券株式会社が作成している指数で、当該指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また、野村證券株式会社は、当該インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPモルガンGBI-エマージング・マーケッツ・グローバルは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しています。

当ファンドのデータ（2020年1月27日）

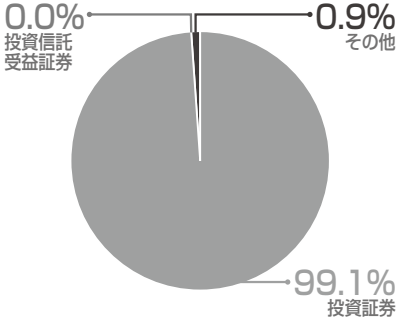
◎組入資産の内容

○組入ファンド等

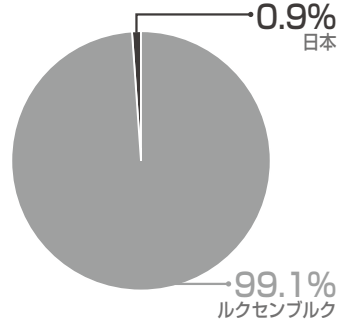
	%
JPM Global Healthcare X	99.1
GIMジャパン・マネープール・ファンドF（適格機関投資家専用）	0.0
その他	0.9
組入銘柄数	2銘柄

（注）比率は純資産総額に対する割合です。
（注）その他は現金・預金・その他資産（負債控除後）です（以下同じ）。

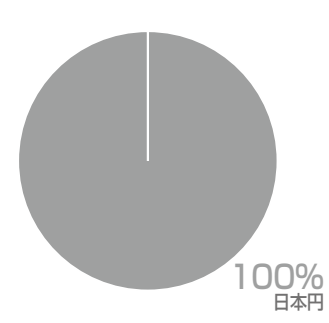
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は純資産総額に対する割合です。
（注）国別配分は発行国または地域を表示しています。なお、当ファンドの実質的な投資内容は、次ページ以降をご参照ください。

◎純資産等

項　　目	第25期末	第26期末
	2019年10月25日	2020年1月27日
純資産総額	50,482,373,582円	45,827,268,763円
受益権総口数	54,490,792,706口	43,444,126,161口
1万口当たり基準価額	9,264円	10,549円

（注）当作成期間（第25期～第26期）中における追加設定元本額は3,454,901,772円、同解約元本額は16,608,827,830円です。

◎組入上位ファンドの概要

◆JPモルガン・ファンズ－グローバル・ヘルスケア・ファンド（2019年6月30日）

JPMグローバル・ヘルスケア（Xクラス）
世界の医療関連企業の株式を主要投資対象とします。

○基準価格の推移

○直近計算期間におけるTER（総費用率）

0.14%

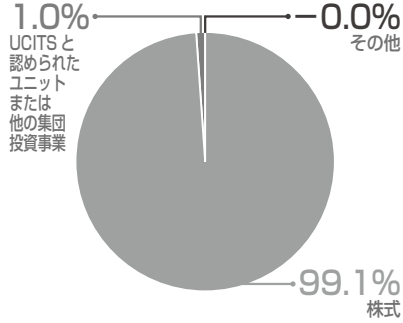
（注）TER（総費用率）は、運用にかかる費用の合計をファンドの純資産の日次平均に対する比率で表したものです。運用にかかる費用の合計には、保管報酬、税金、その他費用が含まれております。当座貸越利息と実績報酬は計算対象から除いております。日々の純資産に対してかかる年率0.50%の運用報酬は含みません。
（注）1万口当たりの費用明細が取得できないため、TER（総費用率）を表示しています。

○組入上位10銘柄

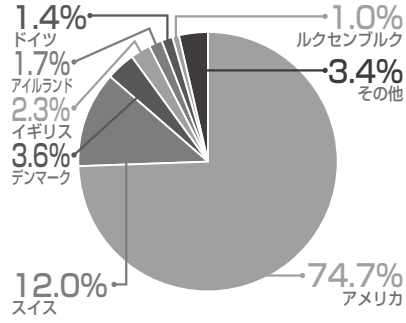
銘柄名	比率
Pfizer, Inc.	7.4%
Johnson & Johnson	7.4
UnitedHealth Group, Inc.	6.6
Novartis AG	5.1
Roche Holding AG	4.7
Thermo Fisher Scientific, Inc.	3.3
Novo Nordisk A/S 'B'	2.8
Boston Scientific Corp.	2.7
Anthem, Inc.	2.5
Becton Dickinson and Co.	2.3
組入銘柄数	81銘柄

（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しています。
（注）比率は純資産総額に対する割合です。

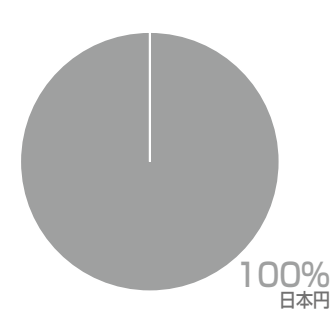
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は純資産総額に対する割合です。
（注）国別配分は発行国または地域を表示しています。
（注）資産別配分のその他は、現金・預金・その他資産（負債控除後）です。国別配分のその他は現金・預金・その他資産（負債控除後）を含みます。
（注）国別配分は、監査済み年次報告書にもとづき表示しています。
（注）通貨別配分は、監査済み年次報告書に開示されていないため、建値通貨を表示しています。

◎組入上位ファンドの概要

◆ＧＩＭ ジャパン・マネープール・ファンドＦ（適格機関投資家専用）（2020年1月14日）

ＧＩＭ ジャパン・マネープール・ファンドＦ（適格機関投資家専用）は、ＧＩＭ マネープール・マザーファンド（適格機関投資家専用）を主要投資対象とします。

○基準価額の推移

○１万口当たりの費用明細

(2019年1月16日～2020年1月14日)

項目	当期 金額	当期 比率
	円	%
(a) 信託報酬	11	0.104
(投信会社)	(7)	(0.071)
(販売会社)	(1)	(0.011)
(受託会社)	(2)	(0.022)
(b) その他費用	2	0.025
(監査費用)	(2)	(0.019)
(その他)	(1)	(0.006)
合計	13	0.129
期中の平均基準価額は、10,103円です。		

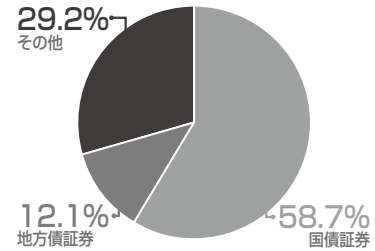
(注) 項目の概要については、前記当ファンドに投資している投資信託の運用報告書「１万口当たりの費用明細」をご参照ください。
(注) 各項目は簡便法により算出し、円未満は四捨五入です。
(注) 比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○マザーファンドの組入上位10銘柄

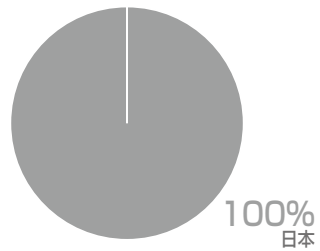
銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
第126回利付国債(5年)	国債証券	日本円	日本	18.2%
第128回利付国債(5年)	国債証券	日本円	日本	12.1
平成21年度第9回大阪市公募公債	地方債証券	日本円	日本	12.1
第340回利付国債(10年)	国債証券	日本円	日本	9.9
第353回利付国債(10年)	国債証券	日本円	日本	9.8
第116回利付国債(20年)	国債証券	日本円	日本	4.4
第154回利付国債(20年)	国債証券	日本円	日本	2.8
第129回利付国債(20年)	国債証券	日本円	日本	1.4
－	－	－	－	－
－	－	－	－	－
組入銘柄数	8銘柄			

(注) 国（地域）は発行国または地域を表示しています。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しています。
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。
(注) ファンドはマザーファンドを通じて投資を行うため、マザーファンドの投資銘柄をファンドが直接保有しているものとみなし、ファンドの純資産総額に対する投資比率として計算しています（以下同じ）。

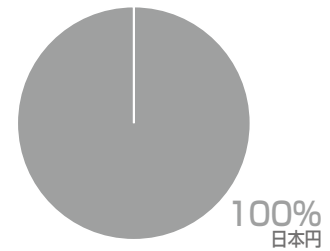
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 国別配分は発行国または地域を表示しています。
(注) その他は現金・預金・その他資産（負債控除後）です。

余 白

余 白

余 白

J.P.Morgan
Asset Management